

学校の概要



あま市立
正則小学校



〒490-1207

愛知県あま市二ツ寺三本松46

TEL 052-444-1073

FAX 052-444-4534

URL http://www.city.ama.ed.jp/sho_masanori/

あま市の二ツ寺地区は名古屋市の5キロほど西にあり、住宅地と田園風景が見られるのどかな地区である。西方を南北に県道一宮蟹江線(尾張中央道)と県道甚目寺佐織線が、南方を名鉄津島線が通っている。

校区の北は、稲沢市と接している。旧美和町の花である「パンジー」の栽培も校区で行われている。また、戦国武将である福島正則公の生誕の地であり、その記念碑も校区にある。本校の正則小学校の名前は、この福島正則の名前からつけられたものである。

本校は、平成11年度から13年度までの3年間、「豊かな心と体を育む楽しい給食」をテーマに学校給食の研究に取り組み、文部大臣(現文部科学大臣)表彰を受けた。

「夢をもち 未来を切り拓く -かしこく あたたかく たくましく-」を教育目標に掲げ、年間の様々な行事や活動を通してその達成に取り組んでいる。また、縦割り活動にも力を注ぎ、児童に「思いやりの心」「感謝の心」を育てている。

校歌

見渡す限り ひろびろと
遠い伊吹の 向うから
野はいっぱいに 緑の風
正則の子は みんな元気
そうだみんな で 伸びるのだ

素直な心 いきいきと
今日も仲よく 手を組んで
野はいっぱいに 光の波
正則の子は みんな元気
そうだみんな で はげむのだ

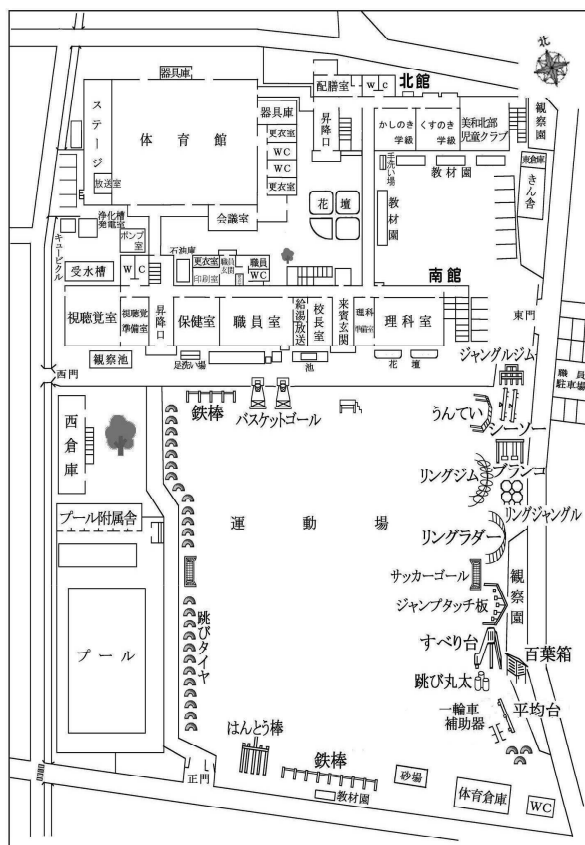
足並み軽く はつらつと
明日の日本に よびかける
野はいっぱいに 希望の歌
正則の子は みんな元気
そうだみんな で 進むのだ



学校の沿革（抄）

- | | | |
|----|-----|--|
| 明治 | 5年 | 富塚村、二ツ寺村の2か所に義校が創立される |
| | 6年 | 富塚村に第五番中学区内四十八番小学習静学校が置かれる
花正村に第五番中学区内三十八番小学春秀学校が置かれる |
| | 10年 | 習静学校が富塚学校と、春秀学校が金花学校と改名される |
| | 13年 | 富塚村の富塚学校より、二ツ寺村に分離され、二ツ寺学校が設立される
金花学校から花長村が分離し、金岩村と合同して金岩学校が増設される |
| | 20年 | また、金花学校は花正学校と改名される
二ツ寺学校、富塚学校、花正学校及び金岩学校の一部が合同し、尋常小学二ツ寺学校が設置される |
| | 25年 | 町村制施行により、正則村立正則尋常小学校と改名される |
| | 39年 | 正則村、蜂須賀村、篠田村が合併し、美和村ができる |
| | 40年 | 美和村二ツ寺尋常小学校と改名される |
| 大正 | 6年 | 美和村立正則尋常小学校と改名される |
| 昭和 | 16年 | 美和村正則国民学校と改名される |
| | 19年 | 太平洋戦争激化のため、二ツ寺月之宮境内に学童用防空壕が掘られた
都市からの疎開児童が増加した |
| | 22年 | 美和村立正則小学校と改名される PTAが発足する |
| | 33年 | 町村制施行により、美和町立正則小学校と改名される |
| | 35年 | 校旗の樹立式が行われる |
| | 38年 | 校歌が制定される |
| | 40年 | 鉄筋3階建て校舎の竣工式が行われる |
| | 43年 | 南東校地435坪（1325.5㎡）を拡張する |
| | 60年 | 児童数増加により、東小学校が新設され、木折地区が移る |
| 平成 | 9年 | 文部省委嘱「勤労生産学習研究推進校」として研究発表会を行う
コンピュータ教室を設置する |
| | 12年 | 文部省から学校給食優良学校の表彰を受ける |
| | 19年 | 南校舎耐震補強工事を行う |
| | 22年 | 美和町、七宝町、甚目寺町が合併し、あま市ができる
あま市立正則小学校と改名される |
| | 24年 | コンピュータ教室のPCを入れ替える |

校舎平面図



校地	12,152㎡
校舎	3,851㎡
屋外運動場	1,072㎡
運動場	6,385㎡
建物敷地	5,767㎡

